

第6回 2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議
(議事概要)

1 開催日時

令和5年12月26日(火曜日)15時00分から15時25分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎42階北塔 特別会議室B

3 構成員等

○構成員

一般財団法人全日本ろうあ連盟
東京都

スポーツ庁

公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本パラスポーツ協会

弁護士

公認会計士

久松 三二 常任理事・事務局長

渡邊 知秀 生活文化スポーツ局次長
(欠席のため意見代読)

柿澤 雄二 参事官(国際担当)

星 香里 常務理事

藤原 正樹 常務理事

(代理出席:仲前 信治 強化支援課長)

三好 豊

中村友理香

(欠席のため意見代読)

○事務局

一般財団法人全日本ろうあ連盟
東京都

4 要旨

【挨拶】

○全日本ろうあ連盟 久松事務局長

- ・本日は、お忙しいところ、第6回2025年デフリンピック大会開催に係る大会準備連携会議にご出席いただき、感謝申し上げます。
- ・11月の第5回会議では、開催基本計画等について皆様にご確認を頂いた。
- ・本日は、「東京2025デフリンピック大会規模(計画額)」について、ご説明をさせて頂く。
- ・皆様、本日も忌憚のないご意見よろしくお願ひしたい。
- ・それではこれより次第に基づき議事に入る。「東京2025デフリンピック大会規模(計画額)」について説明させて頂く。

【資料説明】

○「東京 2025 デフリンピック 大会規模（計画額）」について（東京都）

- ・「東京 2025 デフリンピック 大会規模（計画額）」についてご説明する。
- ・この度、東京 2025 デフリンピックの計画額を取りまとめた。
- ・デフリンピックは、共生社会の実現に寄与する意義を有した大会である。
- ・東京大会は日本で初めての開催であるとともに、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてから100周年となる歴史に残る大会である。
- ・また、70～80か国・地域から約3,000人もの選手が集まる、国際総合スポーツ競技大会でもある。
- ・先般公表した「開催基本計画」の考え方をもとに、大会の成功や大会後のレガシーの創出に向け、大会開催に必要な計画額を取りまとめた。
- ・大会を通じて全ての人々が輝くインクルーシブな街・東京の実現に貢献していく。
- ・続いて「計画額」を説明する。
- ・まず、支出額であるが、仮設等5億円、輸送等15億円、オペレーション70億円、管理・広報30億円、このほか予備費として10億円を計上し、合計130億円で計画している。
- ・続いて、各項目の概要を説明する。
- ・この大会を「シンプルで心に残る大会」とするとともに、共生社会の実現につなげていくよう必要な経費を精査のうえ、算定した。
- ・算定においては、「仮設等」「輸送等」「オペレーション」「管理・広報」に区分した。
- ・各項目の詳細については、資料に記載したとおりである。
- ・続いて収入を説明する。
- ・幅広く寄附等をお願いする中で、デフリンピックの魅力を広め、東京大会に対する都民等の関心を高めるとともに、デフスポーツやろう者の文化に対する理解をさらに深めていく。
- ・寄附については、仮称であるが、「東京 2025 デフリンピック準備運営寄附金」の名称で、個人、法人等を対象に、①指定口座への振込、②クラウドファンディング、2つの方法で募集する。
- ・次に協賛であるが、本大会に賛同する企業等から協賛の形で資金を集め、事業に活用していく。さらに、企業などのサポートを得ることにより、デフリンピックの魅力を広めていく。
- ・このほか、国に対しても必要な支援をお願いするなど、大会の実施に必要な経費について、関係機関と協議していく。
- ・なお、寄附協賛については、現在詳細な内容をつめているところ。内容が整い次第、募集を開始したいと考えているので何かこの場でご意見いただくと助かる。
- ・最後に、収入に関する計画額である。
- ・大会が共生社会づくりを進める重要な契機となることから社会全体で支える大会を実現するため、20億円を目指し、幅広く企業協賛や寄附、各種助成金等を募っていく。
- ・大会において、東京の発展や都民の参画の取組を行うことから、引き続き、大会経費の

精査を行うことを前提に、都費については、今後、東京都の予算編成過程の中で、調整されるものである。

- ・併せて、国による大会への全面的支援を引き続きお願いしていく。

【意見交換】

○東京都 渡邊次長（事務局代読）

- ・本日は、大会の成功や大会後のレガシーの創出に向け、大会開催に必要な計画額をご報告させていただいたが、今後も、計画額をさらに精査していくことが重要。
- ・都としても東京の発展や都民の参画のための取組を行うことから、引き続き、大会経費の精査を行うことを前提に、必要な支援について調整していく。
- ・また、社会全体で支える大会を実現するため、幅広く企業協賛や寄附、各種助成金などを募っていくとともに、閣議了解をはじめ、国による大会への全面的支援を要望している。
- ・大会を成功に導くとともに、大会の場を活用して様々な取組を展開することは、東京の新たな活力となる。
- ・引き続き、皆様のご助言、ご支援を頂きながら、円滑に準備運営を進めていきたい。ご協力をお願いします。

○スポーツ庁 柿澤参事官

- ・東京都や関係団体を中心に先日開催基本計画を策定したところではあるが、この度、大会規模を取りまとめたということでこれまでの尽力に改めて敬意を表したい。
- ・東京オリンピック・パラリンピックのレガシーというものを、デフリンピックと世界陸上を通じて、レガシーの継承や発展につながるような大会にしていくことが重要と考える。
- ・スポーツ庁においても2025年の大会に向けた国際競技力強化という面では、ナショナルトレーニングセンターの利用をデフアスリートの方々も開始したところである。
- ・また、令和5年度の補正予算においてデフスポーツの普及振興に向けてスタートランプなど競技に必要な情報保障機器などの整備の予算を確保しているところである。
- ・スポーツ庁で今年度から新規で実施しているアスリーチ事業というアスリートを学校現場に派遣する事業がある。
- ・デフアスリートについても早速今年度から試行的に実施してみようということで、現在渋谷区の教育委員会・学校と今年度中にデフアスリートの方に学校に行ってもらい、まさに気運醸成という意味でデフリンピックの周知とデフアスリートと子供たちが触れ合うような事業を実施したいと考えている。
- ・今年度まず一か所試行的に実施し、その結果で来年度以降増やしていきたいと計画している。また日時や場所が決定次第、皆様にもお伝えしたい。
- ・場合によっては、どのようなアスリートの方にお声がけしたらよいのかを含め、ろうあ連盟の皆様にも相談することもあるかと考える。
- ・こうした形で気運醸成の方も国としてもできることを実施していきたいと考えている。

- ・スポーツ庁として引き続き、東京都はじめ関係省庁、関係団体の皆様と緊密に連携を図り、大会の成功に向けて必要な支援・協力を行っていきたいと考えている、引き続きどうぞよろしくお願いする。

○JOC 星常務理事

- ・まず今回このような形で計画額が示されたということで、ここに至るまでの東京都やろうあ連盟の作業に敬意を表したい。
- ・この後公表されると思うが、開催経費が当初予算から大きくなっていくということについてはなかなか受け入れてもらえないところがあるため、そのあたりを見込んで今後更なる精査をしてもらえればと考える。
- ・また、様々な形で寄附や企業協賛や助成金や色々な形の収入を得ようとする試みについては、そういったことを通して大会への理解も深まっていくと考えるため、良いことだと考える。
- ・予定している 20 億円より超えていくことが理想的だと考える。
- ・一点細かいことだが、長くアンチ・ドーピングの担当をしておりドーピング検査のことが気になる。
- ・支出の中で仮設等のところにドーピング検査に必要な場所の仮設整備といった表記があるが、実際の検査費用について、ここに含まれているということであれば、結構費用がかかるため、事前に JADA や J-Fairness とよく協議を行い、漏れのないように計画することが必要と考える。

○東京都スポーツ文化事業団

- ・ドーピング検査に関しては星常務理事のご指摘のとおり、現在 JADA 等と相談させていただいている。
- ・また、仮設に関してもなるべくトイレ等は既存の施設を使用し、パーテーションのみの仮設を想定している。
- ・ただ、一部通常の民間施設などを使用するケースでは、対応が非常に難しいため、簡単なトイレ等の仮設が必要な部分は出てくるかもしれないが、最低限の仮設で対応予定である。
- ・今後、実際に運営する JADA と具体的に現地図面等を確認してもらいながら適切な対応をしていきたい。

○JOC 星常務理事

- ・国体などでも学校の体育館でドーピング検査を実施したりしており、JADA は色々な実績を持っているため、よくご相談してもらえればと考える。

○三好弁護士

- ・丁寧な説明と計画額の取りまとめおつかれさまでした。
- ・これから金額、支出も収入も更に精緻化されていくと理解している。
- ・今回の計画額は最終確定ということではないと理解するため、ガバナンスの観点からは、今後更に精緻化した金額を然るべきタイミングにおいて必要な会議体等で意思決定する

ことが必要となると理解しており、必要な手続きを实践するよう念のため留意してもらいたい。

○JPSA 藤原常務理事（仲前強化支援課長代読）

- ・大会規模（計画額）の策定ありがとうございました。
- ・令和5年2月17日の第一回大会準備連携会議の際に全日本ろうあ連盟が試算したものと同じであり、違和感はない。
- ・その一方で、財源の確保は容易ではないが、社会全体で支える資金が集まるように我々も働きかけていきたい。
- ・素晴らしい大会としてしっかりレガシーを継承できるように当事者みんなで頑張っていきたい。

○中村公認会計士（事務局代読）

- ・費用については必要経費を積上げしていくことでおのずと合理的に算出されると思われるが、収入面が気になる。
- ・寄附協賛以外の収入をどのように確保するのがポイントになると思うので、今後の収入面の計画を注視していきたい。

【意見交換総括】

○事務局

- ・本日のまとめをさせていただきたい。
- ・「東京2025デフリンピック大会規模（計画額）」について、皆様にご確認を頂くことができた。

○全日本ろうあ連盟 久松事務局長

- ・本日皆様からいただいた貴重なご意見を参考に、引き続き大会の成功に向けた準備を進めていく。本日はありがとうございました。